

会長メッセージ

残暑厳しい折、8月23～24日滋賀県大津市で国体近畿ブロック大会が開催されます。今年から遠的競技が本大会と同じ方式の点数制で行われ、的の中心への的中が要求されます。我県は、遠的練習場に恵まれません、少年成年共、正射正中、集中力で4チーム揃って長崎県島原の大会目指してください。

連盟行事では8月31日に樞原公苑弓道場で地連審査会が行われます。受審者多数で大変ですが頑張ってください。また、審査員の先生方、担当支部の皆さん、暑さ対策も怠りなく、よろしくお願ひします。

奈良県弓道連盟 会長 西中正

◆平成26年度 第3回伝達講習会

8月3日、樞原公苑弓道場に於いて学校指導者・生徒リーダー対象の伝達講習会が行われました。参加生徒28名、学校指導者4名、引率者3名。

矢渡は、射手綿松講師、第一介添松村講師、第二介添東中で行い、矢渡終了後西中会長、西浦指導部長から矢渡の意味などの説明がありました。その後、藤岡主任講師から伝達事項の5項目の説明がありました。その中の射礼の項目については、部活動で射礼はしないと思いますが知識として覚えておいて下さい、との事でした。

続いて、生徒の一手行射前に藤岡講師より入場から退場までの注意する箇所の説明がされる中、講師5人による模範の一手行射を行いました。

生徒の一手終了後、執弓の姿勢・立ち方・すわり方・開き足・矢奪え動作などを全員で行った後昼食休憩に入りました。午後は引続き入場から退場までの研修と、踵が浮かないように気を付けながら同じテンポで歩けるまで道場内をグルグルと何周も歩行の練習をしました。

基本動作の後に、4人1組になり、1人が引き、3人が前面、背面、後方の3方向から足踏み・胴造り・物見・両肩・肩甲骨のすわりに注意し、正しい的付けになっているかどうかの確認を交代しながらの交互研修を行いました。この方法は部活動の練習でお互いに教え合う場合、ポイントを押さえて的確に助言する練習として有効ではないかと思ひます。

最後に射技研修を行い1日の日程を終了しました。

閉会式の講評で、藤岡主任講師より①足踏みの狭い人が多い。②胸の中筋と両肩の十文字が出来ていない人が多い。という指摘がありました。西中会長からは、色々射技をなおす箇所はあると思うが若さ溢れる弓を引いてほしい、と最後にお話がありました。

数分間も執弓の姿勢のまま…開き足をグルッと一周…疲れた1日だった。で終了しないで下さい。(右上へ)

的の中も大事な事ですが、基本の動作・姿勢も同じように大切です。その事を「再確認した1日」で終了してもらえたらと思います。雨で蒸し暑い中、受講生の皆さんお疲れさまでした。(指導部 東中千佳)

◆第1回中堅層特別講習会の開講

7月27日(日)第1回中堅層特別講習会が樞原公苑弓道場で行われました。

この講習会は今年度初めて行われる事業で、連盟の次期指導者としての心構えや資質の向上を図ることを目的として計画されました。対象者は、4、5段受有者で、しかも50歳以下、さらに各支部長からの推薦を得た者32名(男性19名、女性13名)で開講されました。

西中会長の矢渡で始まり、受講者全員の一手行射、そして吉本名誉会長の講話(弓道人生55年を振り返って)がありました。

講話は1時間余りに渡ってありました。高校で弓道を始めた時の話から大学での弓道、そして一般になってからの弓道を、それぞれで学んだ指導者の思い出を織り交ぜながら話されました。後半は、全日本選手権での思い出から弓道に対する考えや思いを話されました。中でも呼吸の大切さを説かれ、経を読むリズムが全日本選手権の試合で生かされた話は印象的でした。また「宿命に生まれ、運命に挑み、使命に燃える。」の言葉のように弓道で得たことを社会に奉仕してほしいと話されました。

午後からは、執弓の姿勢から跪坐、入退場等の基本動作を何回も徹底して研修したお陰で、見違えるような体調ができるようになりました。

暑い1日でしたが、受講生全員汗を流しながら熱心に取り組み、成果の多い講習会でした。

(指導部：岡本蔦子)

山添村農村広場 遠的練習場 使用について

安全管理の必要上、以下の事項を厳守して下さい。

1. 使用日を東山公民館に予約する。

(原則火曜日は休館日、土日祝日は休館の場合有り)

使用日前に電話等予約をしてください。

東山公民館(電話 0743-86-0001) (9:00~17:00)

2. 使用時は3人以上で行ってください。

遠的場の物置にコーンとコーンバーを用意していますので、広場の中央に等間隔に置いて、2カ所の出入りに安全を見守る人を立ててください。

3. 予約なしで使用することはできません。

約束を守っていただけなければ安全確保の観点から、今後、遠的場の使用は禁止されます。ご協力をお願いいたします。(布目支部：吉本清信)

祝
全日本教職員弓道大会 個人戦
準優勝 西浦範光先生

◆全日本教職員弓道大会（広島大会）
昭和59年奈良国体の年に、神奈川県で標記の大会が開催されたときに出場して以来、およそ30年ぶりの参加でした。

最大の目的は、大会前の常務理事会での3年後の近畿での大会の打ち合わせだったので、自分自身の成績は考えてもいませんでした。ただ、9月の全日本選手権の予選のつもりで引いてみようという思いで臨みました。

団体（松本・平木・西浦）戦の結果は12射5中で決勝トーナメントに進めませんでした。

私個人は1本目に不中となり、なかなか緊張した中で射はうまくいかないことを痛感し、2本目から反省を踏まえて引いてみました。残り3本の中し（予選は4射3中）、決勝の射詰めになっても4本の中し、小的でも2本の中し、あれよあれよという間に72名いた選手が2人になっていました。小的3本目に相手が不中となり、私自身、打起しで邪心が出てきました。もちろん結果は私も不中でした。続く矢も私は不中となり、41年ぶりの優勝は成りませんでした。

ほんの一瞬の邪心が全てを壊してしまう怖さ。今までに何回もその経験をして失敗を繰り返してきたはずなのに…。学習能力ゼロですね。

応援ありがとうございました！（西浦範光）

◆第65回 奈良県中学校総合体育大会弓道の部
■日時 平成26年7月19日（土）
■会場 橿原公苑弓道場
■種目・種別 近的 男子・女子 団体戦及び個人戦
平成26年度の3年生最後の県の大会となりました。団体または個人で優勝すると、東京の明治神宮の弓道場で行われる全国大会の出場権をえる試合です。今大会の参加者は男子71名、女子119名でした。結果は以下の通りです。

<個人戦>

男子	女子
優勝 天理南 井上 友博	優勝 香 芝 松田 胡実
2位 八木 野村 昂希	2位 大成 山本 真鈴
3位 香 芝 牧浦 輝	3位 香 芝 上松 逸稀

(右上へ)

<団体戦>

男子 優勝	天理南A (井上 藤原 松本)
2位	香 芝A (佐瀬 牧浦 小田)
3位	香 芝B (廣田 濱田 松元)
女子 優勝	香 芝B (上松 大西 松田)
2位	香 芝A (西 芳倉 富松)
3位	香 芝C (堀 藤井 森田)

(中体連：中前芳一)

◆平成26年度 全国高等学校総合体育大会
第59回全国高等学校弓道大会
日時：8月7日（木）～10日（日）
場所：東京武道館大武道場特設弓道場
参加者：個人戦 男子96名、女子96名
団体戦 男女とも48校

【個人戦】

[男子]	生田 晃樹 (王寺工)	予 選	4射1中	敗退
	川北 佑輔 (畝 傍)	予 選	4射3中	通過
		準決勝	4射3中	通過
		決 勝	×	敗退
[女子]	渡邊 鞠子 (高田商)	予 選	4射3中	通過
		準決勝	4射1中	敗退
	山野 宏子 (郡 山)	予 選	4射3中	通過
		準決勝	4射4中	通過
		決 勝	×	敗退

【団体戦】

[男子]	畝傍高校 (山田慧史・上山友暉・中西幸叶・川北佑輔・高尾晃平・木下総一郎)		
	予 選	20射12中	通過
	1回戦	対報徳学園 (兵庫) 15中-14中勝ち	
	2回戦	対秀岳館 (熊本) 12中-16中負け	
[女子]	橿原高校 (西川佳那・村田遥奈・辨天杏果・岡本麻美・伊藤ほの香・平井千愛)		
	予 選	20射11中	通過
	1回戦	対広島皆実 (広島) 9中-12中負け	

(高体連 川崎敦子)

◆平成26年度第67回近畿高等学校弓道大会
日時：7月20日（日）・21日（月）
場所：大阪城弓道場
参加者：個人戦 男59名 女子60名
団体戦 男女とも20チーム
【奈良県選手入賞者】
個人 男子 第1位 生田 晃樹 (王寺工業)
第6位 吉村 誠矢 (王寺工業)
女子 第1位 西岡 綾子 (王寺工業)
団体 女子 第2位 高田商業高校
(弥富・松本・上田・西尾・渡邊・吉満)
(高体連 川崎敦子)

◆スポーツ少年団日独同時交流事業弓道体験会

平成26年7月30日(水)9時～11時、奈良市弓道場で行われました。この事業は、毎年国レベルで行われており、全国各地でグループに分かれ交流されています。

奈良県体育協会、奈良市スポーツ少年団本部から依頼され、今年で4回目になります。

今回は、ドイツのスポーツ少年団の指導者7名、本部役員、団長以下3名、合計10名のドイツの人々、また、通訳や、ホストファミリーの方々、県、市の担当者が弓道の体験をしました。奈良市弓道協会からは、中・高生の教室から9名が参加しました。

自己紹介に始まり、中・高生による行射の披露、巻き藁道場での手の内、矢の番え方、軍手を使った取がけ等を練習した後、的前5m・10mと距離を延しつつ、最後は射位からの的に向かい矢を飛ばし、的中には大きな歓声があがりました。中・高生の教室の受講生のなかで畑谷姉妹はドイツに居住していたこともあり、流暢なドイツ語での自己紹介、指導もあり、打ち解けた和やかな雰囲気の中、あっという間に2時間が経ちました。

閉会式には、記念品の交換、特に中・高生に対し団長から丁寧なお礼の言葉があり、子供たちにとっては貴重な体験をしました。(奈良支部 新司正人)



◆第252回地連審査会

7月20日奈良市弓道場にて審査会を実施しました。猛暑の中での審査でしたが、皆さん汗を拭きながらも頑張っておられました。結果は以下の通りです。

【級位】	受審者	42名(欠席2名)
	合格者	1級30名、2級8名、原級2名
【段位】	初段 受審者	21名、合格者 18名
	弐段 受審者	14名、合格者 11名
	参段 受審者	14名、合格者 4名
	四段 受審者	8名、合格者 2名
	太田和宏(奈良)、長谷部好子(奈良)	
	(審査部:明瀬綾子)	

◆奈良市総合財団武道グループ土用稽古

平成26年7月18日(金)～20日(日)午前6時から1時間、恒例の土用稽古が中央武道場を中心に開催されました。

柔道・剣道・弓道・なぎなた・宝蔵院流槍術・座禅をそれぞれの道場に分かれて行い、武道を通し、心身の鍛錬と精神の統一を図り、夏の暑さに打ち勝つ忍耐力を養う目的で行われています。

開会式には仲川奈良市長や中室教育長も来られ、その後、各会場まで激励に回られました。

弓道場では、5人立ち、競技の間合いで行射しており、他の会場にはない、静寂で張りつめた空気の中での稽古を視察されました。弓道の参加者は、今年は高校生や中学生の参加もあり、初日は20名、2日目は29名、最終日は29名でした。(奈良支部 新司正人)



◆橿原市弓道協会白檀中学道場百射会

一般社会人の普段の2～3時間の練習では経験できない数をかける練習を、射技・競技力の向上につなげようと、夏と冬の年2回実施しています。

今回で31回目となるこの会は、例年、国体強化メンバーにも参加頂いて、百射を通じて崩れることの無い射を見ることができ、会員の刺激にもなっています。今年も8月3日に国体強化11名、会員23名、更に県立医大から5名の参加を得て開催しました。

今年は例年ほどの暑さにはならなかったものの湿度が高く、汗まみれになりながらも21名が完射しました。

冬の百射会は毎年1月3日に開催します。橿原支部の会員のみの会ではありませんので、正月から弓三昧を希望される方は是非ご参加下さい。(橿原支部:衛藤博史)

編集後記

この週末には、ジュニアオリンピック(中学生)と国体近畿ブロック予選が開催されます。

全国大会での入賞、国体本戦への出場を目指して、暑い中、頑張って修練されてきた結果を遺憾なく発揮されることを期待しております。